

2010年12月20日(月)

社保協事務局 発行

TEL823-0867 Fax821-3701

E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp

http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護・後期  
高齢者110番は  
12月24日(金)です

## 現行保育制度の堅持・拡充を!

12/14札幌保育連と保育労組は160人余が参加して市と交渉を行い、国が進めようとしている「子育て新システム」に対する市の姿勢や、待機児童解消、給食の外部搬入、宗教除去食への対応、保育料、保育職員の待遇などについて要求を行いました。

市の答え

- 新システムについてはまだ見えない部分が多い、保育の質の確保については国に要求している。
- 待機児童対策一認可保育園の定員増を図り、できれば前倒しで対応したい。
- 給食の外部搬入について、今の所考えてはいない。幼保一元化になった場合、給食設備のない幼稚園どうするのかが課題。宗教食の実態についても把握しているが、助成は困難。
- 保育料は国の基準よりも軽減しており、これ以上の軽減は難しい。
- 賃金問題は認識しており、国の運営費の職員配置基準改善を働きかけている。

12/7に「保育予算の大幅増額と現行保育制度の堅持・拡充を求める陳情」が札幌市議会厚生委員会で審議され、父母と保育士の代表が趣旨説明を行いました。陳情は継続審議となりました

育児休暇が終わっても  
保育園に入れない!



↑さん→  
14日、市と趣旨説明を行う橋本  
と奥寺さん、右



## 最低保障年金確立、医療・介護、 高齢者・地域のくらしの改善を

### 年金者組合札幌が市と交渉

年金者組合札幌支部協議会は12/14に20人が参加し、最低保障年金、後期高齢者、国保・介護、高齢者の暮らし、ゴミ、除排雪対策などについて、市の各部署と話し合いを行いました。

- 消費税によらない最低保障年金の制度化一国に伝える
- 後期高齢者医療制度分かりにくく事務も煩雑一できるだけ分かりやすく工夫したい
- 後期高齢者医療の資格証明書は現在発行していない、個別の納付相談をして、生活を脅かすようなことはしない。

●国保料は現在も医療費の伸びに対して抑えている状況で、これ以上の一般会計からの繰り入れは難しい。国保料が高いという認識は持っている。

●特定健診は受診率が低い、市独自に項目を増やすなど、受けやすい方法を考えている。

●保険料滞納の差し押さえでは年金の受給権を押さえたりはできない、口座などを押さえる場合も1世帯最低10万円+2人目から1人あたり4.5万円は差し押さえないと決めている。

●介護保険料はそれぞれ年金天引きで、世帯主からの税金控除ができない一厚労省から財務省に（できるように）要請をしたと聞いている。

